

平成 24 年度事業報告

平成 24 年度において本会の設立目的であるスポーツ振興を通じて市民の体力の向上とアマチュアスポーツ精神の向上に資するため、各種のスポーツ事業を実施した。

1 スポーツ振興事業

市民の体力向上、スポーツの底辺の拡大と振興を図るために次の事業を行った。

(1) スポーツ大会の開催補助

市民がスポーツ大会に参加する機会をつくり、スポーツの振興を図るため、加盟競技団体が主催する市民体育祭事業に対し補助した。

24 大会 参加者数：4,717 人、 36 チーム

(2) 加盟競技団体強化推進

加盟競技団体が主催するスポーツ教室や競技会を共催・後援し、加盟団体の強化推進とスポーツ振興のための支援を行った。また、教室、大会等の開催実績により、加盟競技団体に対し補助した。

(3) 市及び各実行委員会主催の各種大会の運営補助

長野オリンピック記念長野マラソン大会、NAGANO 飯綱高原健康マラソン、NAGANO スポーツフェスティバル、全国中学校スケート大会、その他市主催大会等への協力を行った。

(4) スポーツ振興功績者の表彰

スポーツの振興、競技力の向上に功績のあった者や競技会等において、特に優秀な成績を収めた選手及びコーチを表彰し、スポーツの振興を図った。

功劳個人 13 人 勲功 61 人

2 競技力向上基本構想プログラムへの取り組み

国民体育大会長野県派遣選手数における長野市在住者の割合を、平成 16 年から 5 ヶ年で 20%にする目標を掲げた「競技力向上基本構想プログラム」は、平成 21 年度、更に 5 ヶ年を目途に継続することを決定し、改めて 8 競技団体を選定した。本年度も、引き続き 8 競技団体を重点競技団体として強化を図ると共に、他の競技団体においても次の競技力向上プログラムを実施した。

(1) 認定指導者及び指定選手の登録制度

各競技団体が責任を持って推薦し、当協会が認定する指導者および指定選手に顔写真入りの認定証を交付し、使命感の高揚を期すとともに精神的なサポートを図った。

(2) 強化練習会場の確保及び経費負担の軽減

認定指導者及び指定選手が行う強化練習に際し、練習会場を市民利用に支障がない範囲で確保し、指定する会場の使用料を補助した。

(3) 強化プログラムに基づく支援

国民体育大会や全日本選手権等での入賞を目指す競技団体の中から選定した 8 競技団体について、重点的に補助した。

重点強化対象競技団体

長野陸上競技協会、長野水泳協会、長野市スキークラブ、長野市体操協会、
長野市スケート協会、長野市卓球協会、長野市アイスホッケー協会、
長野市バレーボール連盟

(4) 専門研修会の開催

指導力及び競技力向上のために専門研修会を開催した。

11 月 20 日（火） トイゴ 生涯学習センター 参加者 82 人

- (5) 成果主義による助成
競技団体が自ら実施する強化プログラムによる成果に対し、強化費を補助した。
バレーボール連盟、空手協会、体操協会

3 競技力向上事業

将来的に国体級選手として活躍が見込まれる中学生以下のジュニア選手等の育成、加盟競技団体の強化育成と競技者の競技力向上のために次の事業を行った。

- (1) ジュニア特別対策事業
次代を担うジュニア選手育成のための練習、合宿を実施した事業に補助した。
7団体：陸上競技協会、スキークラブ、テニス協会、バレーボール連盟、
軟式野球連盟、剣道連盟、サッカー協会
- (2) 優秀選手役員招へい事業
県内、国内の優秀選手・指導者を招へいし、競技力の向上を図る事業に補助した。
6団体：スキークラブ、バスケットボール協会、ソフトテニス協会、剣道連盟、
ラグビーフットボール協会、アイスホッケー協会
- (3) 選手強化事業
将来的にインターハイあるいは国体級選手として期待できる者を対象に育成強化を図った。
6団体：陸上競技協会、スキークラブ、馬術連盟、空手協会、サッカー協会、
アイスホッケー協会
- (4) ジュニアスケート選手強化対策事業
平成19年度より10年間継続して全国中学校スケート大会が長野市で開催されるため開催地としてジュニアスケート選手の技術力向上が不可欠であり、ジュニアスケート選手強化対策事業補助金要綱により、長野市スケート協会とともにジュニアスケート選手の技術力向上等の育成を図った。
- (5) 指導者育成事業
選手強化を目的とし、より多くの指導者を養成するため、日体協公認スポーツ指導者の資格を新規に取得する者、日本の種目別競技団体が公認する審判員の資格を取得する者、当該専門委員会の承認を得て、これらに準ずる資格を取得する者に対し、講習会等出席に要する経費の一部を補助した。
4団体：スキークラブ、体操協会、馬術連盟、アイスホッケー協会
- (6) 運動用具購入事業
広くスポーツを振興し、スポーツを愛好する者の底辺を広げるため、加盟団体に対して競技等に必要な消耗品を支給した。
- (7) 国体選手等壮行会の開催
国体の出場者等に対し、激励のための壮行会（本大会のみ）を開催した。
9月20日（木） 長野市役所 講堂 授与対象者67人

4 スポーツ少年団育成事業

スポーツ活動を通して、青少年の心身の健全な発達を目的としたスポーツ少年団を育成するとともに、団相互の親睦を図った。また、スポーツ少年団に必要な指導者育成のための事業を実施する。

- 4月27日（金） 長野市役所会議室 本部総会
5月11日（日） ホワイトリング 運動適正テスト 参加者数72人
11月10日（土） ホワイトリング 母集団育成研修会（北信地区連絡協議会事業）
第39回日独スポーツ少年団同時交流 岩井健一郎さん（長野剣道スポーツ少年団）

5 広報普及啓発事業

加盟競技団体の活動の紹介、スポーツの普及啓発を図るため、広報「スポーツナガノ第20号」を発刊した。

ホームページの充実を図り、市民に対しスポーツ情報を発信した。

6 新公益法人への移行

公益法人制度改革3法の制定に伴い、法施行日（平成20年12月1日）より、5年間の移行期間内に法に適合する団体となるため、準備を進めてきた結果、平成24年11月14日付で行政庁（長野県）に対し移行認定申請を行い、平成25年3月22日付で認可され、新法人発足の登記手続きを行った。

7 自主財源の確保

事業の充実のため、法人及び重点的に募集を始めた個人の賛助会員の増加を図るなど、自主財源の確保に努めた。

8 その他

ロンドンオリンピック、シンクロナイズドスイミングに出場した、長野市出身の箱山愛香選手を応援するため、長野駅コンコースに懸垂幕を掲げ、オリンピックムードを高めた。

平成25年6月5日 提出

平成25年6月5日 議決